

2024 年度 履修要覧

外国語学部

四年制学部共通事項

- 羽島キャンパス
 - 教育学部
 - 外国語学部
 - 看護学部
- 岐阜キャンパス
 - 経済情報学部

教育学部

外国語学部

看護学部

経済情報学部

岐阜聖徳学園大学短期大学部

授業科目

授業科目の体系

卒業要件は、この分類によって指定されます。
具体的な科目名については、教育課程を参照してください。

- 建学の精神に関する科目
- 教養基礎科目 (Yawaragi Basis)
- 専門科目

履修上の分類

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目
自由選択科目	単位認定はされるが、卒業要件に含まれない科目

履修上の注意点

- ・在学年次よりも上級年次の授業科目は、履修できません。
- ・既に単位修得した授業科目は、再履修することができません。

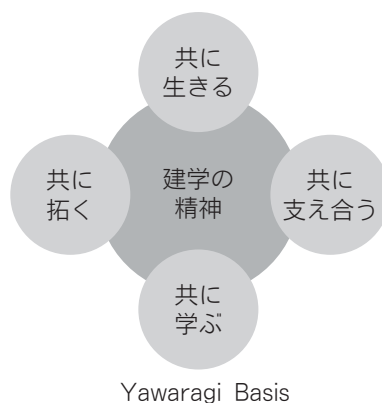
Yawaragi Basisとは

「Yawaragi Basis」とは、本学の建学の精神を根幹とした学部横断型の教養教育です。
本学の建学の精神である仏教精神を具体的にあらわす言葉として、聖徳太子の『十七条憲法』の第一条にある「以和為貴」（和をもって貴しとなす）や「平等」「寛容」「利他」を掲げています。

「以和為貴」の「和」は、「やわらかなところ」であることから、「Yawaragi Basis」と名づけています。

「Yawaragi Basis」では、「共に支えあい 創造し未来を切り拓く力」を身につけます。
異なる学部の学生が共に学び、交流し、幅広い知識を身に付けて、柔軟性のある思考力を涵養します。

「共に学ぶ」科目
基礎学力、知識、国語力、体力、精神力を身に付けます。 基礎セミナー／スポーツ／心理学概論／歴史学／日本国憲法／キャリアプラン
「共に拓く」科目
日本の伝統・文化・歴史、異なるものを理解する能力、情報リテラシー、語学力を身に付けます。 ICT基礎／データサイエンス／外国語科目群／映画学／日本文化論／異文化論／芸術論
「共に生きる」科目
地球規模の視野、歴史的な視点、多角的な視点で物事を考える力を身に付けます。 ジェンダー論／哲学／経済学／現代環境科学／数学／天文学／岐阜学
「共に支え合う」科目
社会との関わりの中で自己を位置づける力を身に付けます。 災害と危機管理／家族と社会保障／レクリエーション／食生活論／健康科学／健康科学概論



単位制

算出方法

大学での教育課程は、単位制となっています。

開講授業科目にはそれぞれの単位数が定められており、その単位を修得するには、科目の履修をし、所定の試験等に合格することが必要です。

単位は、授業科目の修得に必要な学修量を数字で表すものです。

本学では、各授業科目の毎週1回当たりの授業時間は90分ですが、これを制度上2時間として計算しています。

授業は前期15週、後期15週の30週が開講されることになっています。各授業科目の単位計算法は、科目の種類・性質によって異なり、本学部では次のように定めています。

①講義科目

15時間の授業で1単位となります。

これにより、本学部での毎週1回1セメスター（半年間）の授業で2単位、2セメスター（週2回の場合は半年、週1回の場合は通年）の授業で4単位となります。

ただし、科目によっては、単位数の異なるものもあります。

②演習科目

30時間の授業で1単位となります。

これにより、本学部での毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。

ただし、以下の科目は、15時間の授業で1単位となります。

教養基礎科目「ICT基礎」

教職科目「教職実践演習（幼・小・中・高）」

③実験・実習・実技科目

30時間の実験・実習・実技で1単位となります。

これにより、毎週1回1セメスター（半年間）の授業で1単位となります。ただし、科目によっては、単位数の異なるものがあります。

また、学修量は、上記の授業時間数だけで算定されるものではなく、教室外で自学自習する時間も含むことになっています。1単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での自学自習時間を合わせた45時間となっています。例えば講義2単位（30時間）の場合、60時間の自学自習時間が必要となります。

なお、学外実習については、別に定めます。

C A P 制

C A P 制とは

半期に履修登録できる単位数に上限を定め、授業科目を適切に履修するための制度です。
この上限を超える履修登録はできません。

1 単位の学修時間は、授業時間とその授業のための準備（予習・復習）をする教室外での
自学自習時間を合わせて45時間となっています。履修した科目に比例して、それぞれに必要な
学修時間も増えることとなるため、履修登録できる単位数を制限することで、履修科目に
ついて十分な学修時間を確保することができ、また学修した内容を真に身に付けることがで
きます。

履修登録 上限単位数

前期 25単位

後期 24単位

ただし、当該学期の直前の学期のG P Aに基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取
り扱います。

直前の学期のG P Aが1.5未満の者 22単位

対象科目

卒業要件に算入できる科目。

卒業要件

卒業するためには休学期間を除き4年以上在学し、次の表を充足する単位数の修得が必要です。

		外国語学科	
		必修	選択
建学の精神に関する科目		4	
教養基礎科目 (Yawaragi Basis)	基礎力	8	6
	言葉とコミュニケーション	4	
	人文科学		
	社会科学		
	自然科学		
	複合領域		14
(合計)		22	
専門科目		45	47
(合計)		92	
卒業資格最低単位数合計		128	

「国際キャリアコース」と「英語教員養成コース」について

「国際キャリアコース」

「国際キャリアコース」では、ビジネス英語はもちろん、中国語、日本語教育、国際情勢、各国事情、IT技術などを習得することにより、多彩で質が高く、国際社会で活躍できる人材の養成を目指します。

読む、書く、聞く、話す、の4技能を習得しながら、All Englishの授業で国際情勢や異文化研究など幅広い教養を身に付けて、日本人として世界に発信できる力を養います。

また、ビジネス英語、IT知識、外国人のための日本語教育方法などの授業を設け、多方面にわたって活躍できる国際人を養成します。

「英語教員養成コース」

「英語教員養成コース」では、英語コミュニケーション能力はもちろん、語学教育の理論的な知識を持った「プロ」の中学校や高等学校などの英語教員を養成します。教育現場において授業内外を問わず、英語をダイナミックに駆使し、生徒たちのモデル、理想となる教員を目指します。

読む、書く、聞く、話す、という英語の4技能を習得しながら、英語学、第二言語習得論、外国語教授法などの授業を通して、実践的な英語教育のノウハウを学び、正確でかつわかりやすい英語を操る能力を身に付けます。

また、All Englishの授業を受講することにより、自らAll Englishの授業を行うことを目標とします。諸外国の事情に精通し、英語の機能をよく理解した視野の広い教員を養成します。

教育課程

開講年次欄の1・2・3・4は学年を示し、●・■・○・☆の位置が左寄りは前期、右寄りは後期、中央は通年の開講を表します。

●：週1回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

○：週2回開講し、1セメスター（半年）で完結する科目

■：週1回開講し、2セメスター（1年）で完結する科目

☆：不定期に開講し、2セメスター（1年）で完結する科目（授業日は別途連絡します）

[注意]

やむを得ない事情により開講期を変更することがあります。

また開講しない場合もありますので必ずその年度の時間割表を確認してください。

建学の精神に関する科目

開講授業科目		講義区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
				必修	選択	1	2	3	4	
建学の精神に関する科目	宗教学Ⅰ	講	2	2		●				
	宗教学Ⅱ	講	2	2		●				
最低修得単位				4	0					
				4単位						

教養基礎科目 (Yawaragi Basis)

YB 科目群	学則 区分	開講授業科目	講義 区分	単位数	履修単位		開講年次				備考
					必修	選択	1	2	3	4	
共に学ぶ	基礎力	基礎セミナーⅠ	演	1	1	選択6単位	●				外国語学部の学生は、以下の科目を履修することができない。 「英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」 「言葉とコミュニケーション」開講科目のうち、ドイツ語・フランス語・中国語のいずれか1言語を選択し、同一言語で4単位を修得すること。
		基礎セミナーⅡ	演	1	1			●			
		スポーツⅠ	実	1	1		●				
		スポーツⅡ	実	1	1			●			
	人文科学	心理学概論	講	2	1言語4単位選択必修		●	●			
		歴史学	講	2			●	●			
社会科学	日本国憲法	講	2	●		●					
	キャリアプラン	講	2	●		●					
共に拓く	基礎力	ICT基礎	演	2		2	●				
		データサイエンス入門	講	2		2		●			
		データサイエンス基礎	演	1			●				
	言葉とコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	演	1	1言語4単位選択必修						
		英語コミュニケーションⅡ	演	1							
		英語コミュニケーションⅢ	演	1							
		英語コミュニケーションⅣ	演	1							
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	演	1		●					
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		ドイツ語Ⅰ	演	1				●			
		ドイツ語Ⅱ	演	1					●		
		フランス語コミュニケーションⅠ	演	1		●					
		フランス語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		フランス語Ⅰ	演	1				●			
		フランス語Ⅱ	演	1					●		
		中国語コミュニケーションⅠ	演	1		●					
		中国語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
		中国語Ⅰ	演	1				●			
		中国語Ⅱ	演	1					●		
		ポルトガル語コミュニケーションⅠ	演	1		●					
	ポルトガル語コミュニケーションⅡ	演	1		●						
	韓国語コミュニケーションⅠ	演	1	●							
	韓国語コミュニケーションⅡ	演	1		●						
	人文科学	映画学	講	2	●	●					
		日本文化論	講	2	●	●					
	社会科学	異文化論	講	2	●	●					
芸術論		演	1	●	●						
共に生きている	人文科学	ジェンダー論	講	2	●	●					
		哲学	講	2	●	●					
	社会科学	経済学	講	2	●	●					
		現代環境科学	講	2	●	●					
	自然科学	数学	講	2	●	●					
		天文学	講	2	●	●					
	複合領域	岐阜学	講	2	●	●					
		災害と危機管理	講	2	●	●					
	社会科学	家族と社会保障	講	2	●	●					
		レクリエーション	講	2	●	●					
複合領域		食生活論	演	1	●	●					
	健康科学	講	2	●	●						
	健康科学概論	講	2	●	●						
最低修得単位					12	6					
					18単位						

留学生・帰国生徒に適用

開講授業科目		講義 区分	単位数	履修単位 必修 選択		開講年次				備考
						1	2	3	4	
教養科目	日本文化事情Ⅰ	講	2			●				合計4単位まで、 学則区分「人文科学・社会科学・自然科学」科目の代わりに履修することができる。
	日本文化事情Ⅱ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅰ	講	2			●				
	日本社会事情Ⅱ	講	2			●				
外国語科目	日本語コミュニケーションⅠ	演	1			●				合計4単位まで、 学則区分「言葉とコミュニケーション」科目の代わりに履修することができる。
	日本語コミュニケーションⅡ	演	1			●				
	日本語Ⅰ	演	1			●				
	日本語Ⅱ	演	1			●				

専門科目

開講授業科目		区分	単 位 数	履修単位				開講年次				備考		
				国際キャリア		教員養成		1	2	3	4			
				必修	選択	必修	選択							
共通科目 必修 科目	English Communication A	演	1	1			1		●				※履修条件あり P.109「履修要件」を参照	
	English Communication B	演	1	1			1		●					
	English Communication C	演	1	1			1			●				
	English Communication D	演	1	1			1			●				
	Essay Writing I	演	1	1			1			●				
	Essay Writing II	演	1	1			1				●			
	英文法 I	講	2	2	2	2	●							
	英文法基礎 I	演	2				○							
	英文法 II	講	2	2	2	2		●						
	英文法基礎 II	演	2					○						
	英作文 I	演	1	1			1		●					
	英作文 II	演	1	1			1			●				
	英語リスニング I	演	1	1			1		●					
	英語リスニング II	演	1	1			1			●				
	英文読解 I	演	1	1			1		●					
	英文読解 II	演	1	1			1			●				
	英文読解 III	演	1	1			1			●				
	英文読解 IV	演	1	1			1				●			
	ICT 活用	演	1	1			1			●				
	日本語表現 I	演	1	1			1		●	●				
	日本語表現 II	演	1	1			1		●	●				
	イギリス研究 I	講	2	4	4	4	●	●						
	アメリカ研究 I	講	2				●	●						
	British Studies I	講	2				●							
	American Studies I	講	2				●							
	中国研究 I	講	2				●	●						
	卒業研究 I	講	2	2		2						●		
	卒業研究 II	講	2	2		2						●		
	卒業研究 III	講	2	2		2						●		
基礎 科目 技能	English Communication E	演	1	1					●				日本語講義名「メディアの英語Ⅰ」 日本語講義名「メディアの英語Ⅱ」	
	English Communication TE	演	1			1			●					
	English Communication F	演	1	1						●				
	English Communication TF	演	1			1			●					
	Reading and Discussion I	演	1	1							●			
	Reading and Discussion II	演	1	1								●		
	Research and Presentation I	講	2								●			
	Research and Presentation II	講	2									●		
	Selected Topics I	講	2									●		
	Selected Topics II	講	2											●
	Essay Writing III	演	1								●			
	Essay Writing IV	演	1									●		
	Media English I	講	2	2				●						
	Media English II	講	2						●					
英語学・英米文学	英文読解 V	演	1							●				
	英文読解 VI	演	1								●			
	English Linguistics I	講	2	2		2		●	●				日本語講義名「英語学Ⅰ」	
	English Linguistics II	講	2			2		●	●			日本語講義名「英語学Ⅱ」		
	英語学Ⅲ	講	2						●	●				
	英語学Ⅳ	講	2						●	●				
	英語文学Ⅰ	講	2	2		2		●	●					
	英語文学Ⅱ	講	2					●	●					
英語文学Ⅲ	講	2							●	●				
英語文学Ⅳ	講	2							●	●				

開講授業科目		区分	単位数	履修単位				開講年次				備考		
				国際キャリア		教員養成		1	2	3	4			
				必修	選択	必修	選択							
中国語	楽しい中国語Ⅰ	演	1					●						
	楽しい中国語Ⅱ	演	1						●					
	中国語コミュニケーション A	演	1							●				
	中国語コミュニケーション B	演	1								●			
	中国語コミュニケーション C	演	1								●			
	中国語コミュニケーション D	演	1										●	
	中国語文法Ⅰ	講	2							●				
	中国語文法Ⅱ	講	2								●			
	中国語講読Ⅰ	講	2							●				
	中国語講読Ⅱ	講	2								●			
	中国語講読Ⅲ	講	2								●			
	中国語講読Ⅳ	講	2										●	
言語学・日本語教育	言語学入門	講	2						●					
	対照言語学	講	2							●				
	日本語研究Ⅰ	講	2								●			
	日本語研究Ⅱ	講	2										●	
	異文化コミュニケーション	講	2							●				
	日本語教育方法論	講	2								●			
	日本語教育実地研究（含事前事後指導）	演	2											●
	日本語学入門	講	2						●					
	日本語学Ⅰ	講	2							●				
	日本語学Ⅱ	講	2								●			
	日本語学Ⅲ	講	2										●	
	日本語教育学入門	講	2						●					
	日本語教育研究Ⅰ	講	2							●				
	日本語教育研究Ⅱ	講	2								●			
	日本語教育研究Ⅲ	講	2										●	
	日本語演習	演	1						●					
世界に関する知識	イギリス研究Ⅱ	講	2	2						●		日本語講義名「世界の出来事Ⅰ」 日本語講義名「世界の出来事Ⅱ」		
	アメリカ研究Ⅱ	講	2							●				
	British StudiesⅡ	講	2								●			
	American StudiesⅡ	講	2							●				
	中国研究Ⅱ	講	2								●			
	イギリス研究Ⅲ	講	2								●			
	アメリカ研究Ⅲ	講	2								●			
	British StudiesⅢ	講	2										●	
	American StudiesⅢ	講	2								●			
	中国研究Ⅲ	講	2								●			
	World IssuesⅠ	講	2								●			
	World IssuesⅡ	講	2										●	
	Japanese StudiesⅠ	講	2										●	
	Japanese StudiesⅡ	講	2											●
	Travel and TourismⅠ	講	2							●				
	Travel and TourismⅡ	講	2								●			
	異文化理解	講	2								●			
	留学の安全と知識	講	2							●				
	留学のための英語	講	2								●			
実務・情報	Business CommunicationⅠ	演	1	1						●		日本語講義名「ビジネス英語Ⅰ」 日本語講義名「ビジネス英語Ⅱ」		
	Business CommunicationⅡ	演	1	1							●			
	Business CommunicationⅢ	演	1								●			
	Business CommunicationⅣ	演	1										●	
	経済英語Ⅰ	演	1								●			
	経済英語Ⅱ	演	1										●	
	情報実務Ⅰ	演	1							●				

開講授業科目		区分	単位数	履修単位				開講年次				備考	
				国際キャリア		教員養成		1	2	3	4		
				必修	選択	必修	選択						
実務・情報	情報実務Ⅱ	演	1						●				
	情報実務Ⅲ	演	1							●			
	情報実務Ⅳ	演	1								●		
	データサイエンス（ことば）	演	1						●				
英語教育	教育英語研究Ⅰ	講	2			} 2		●					
	教育英語研究Ⅱ	講	2					●					
	第二言語習得論Ⅰ	講	2			} 2			●				
	第二言語習得論Ⅱ	講	2						●				
	小学校英語教育研究Ⅰ	講	2					●					
	小学校英語教育研究Ⅱ	講	2					●					
キャリア支援	キャリアセミナーⅠ	演	1					●					
	キャリアセミナーⅡ	演	1					●					
	キャリアセミナーⅢ	演	1						●				
	キャリアセミナーⅣ	演	1						●				
	キャリアセミナーⅤ	演	1							●			
	キャリアセミナーⅥ	演	1								●		
	キャリアセミナーⅦ	演	1						●				
	キャリアセミナーⅧ	演	1							●			
	キャリアセミナーⅨ	演	1								●		
	キャリアセミナーⅩ	演	1							●			
	キャリアセミナーⅪ	演	1							●			
	キャリアセミナーⅫ	演	1						●				
	キャリアセミナーⅬ	演	1							●			
	キャリアセミナーⅭ	演	1							●			
	キャリアデザインⅠ	講	2					●					
	キャリアデザインⅡ	講	2						●				
	企業就職への道	講	2							●			
	英語ボランティア活動	実	1						☆				2段階評価科目（CAP対象外）
	国内インターンシップ	実	1						☆				2段階評価科目（CAP対象外）
	国際インターンシップ	実	1						☆				2段階評価科目（CAP対象外）
留学生・帰国生徒	日本語口頭演習Ⅰ	演	1					●					
	日本語口頭演習Ⅱ	演	1						●				
	日本語口頭演習Ⅲ	演	1						●				
	日本語口頭演習Ⅳ	演	1							●			
	日本語総合演習Ⅰ	演	1					●					
	日本語総合演習Ⅱ	演	1						●				
	日本語総合演習Ⅲ	演	1						●				
	日本語総合演習Ⅳ	演	1							●			
最低修得単位			45	47	45	47							
			92単位		92単位								

自由選択科目

(1) 教職課程科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	開講年次				備考
				1	2	3	4	
教育の基礎的理解	教育基礎論	講	2		●			卒業認定単位として数えない。 開講期は時間割を参照すること。 修得すべき科目については、教育職員免許状に関するページを参照すること。
	教師論	講	2	●				
	教育の社会制度論	講	2		●			
	教育心理学	講	2		●			
	特別支援教育基礎	講	2		●			
	教育課程論	講	2			●		
各教科の指導法	中等教科教育法Ⅰ（英語）	講	2		●			
	中等教科教育法Ⅱ（英語）	講	2		●			
	中等教科教育法Ⅲ（英語）	講	2			●		
	中等教科教育法Ⅳ（英語）	講	2				●	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の指導法	講	2		●			
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	講	2		●			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）	講	2			●		
	生徒・進路指導論	講	2		●			
	教育相談	講	2			●		
その他教職関係科目	介護等の体験（含事前事後指導）	講・実	2			☆		
教育実習	中学校教育実習（事前事後）	講	1				☆	
	中学校教育実習	実	4				☆	
	高等学校教育実習（事前事後）	講	1				☆	
	高等学校教育実習	実	2				☆	
教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中・高）	演	2				●	※

※教職実践演習（幼・小・中・高）の履修は、中学校教育実習（事前事後）及び、中学校教育実習を履修中もしくは修得済みであること。

(2) その他資格科目

開講授業科目		講義 区分	単位数	開講年次				備考
				1	2	3	4	
図書館司書教諭資格を得るための科目	学校経営と学校図書館	講	2			● ●		卒業認定単位として数えない。
	学校図書館メディアの構成	講	2			● ●		
	学習指導と学校図書館	講	2			● ●		
	読書と豊かな人間性	講	2			● ●		
	情報メディアの活用	講	2			● ●		
浄土真宗本願寺派教師資格を得るための科目	真宗概論	講	2	●				卒業認定単位として数えない。 履修を希望する場合は必ず教務課に直接申し出ること。
	真宗史	講	2	●				
	仏教概論	講	2	●				
	宗門法規	講	2	●				
	勤式作法実演	実	1	●				
	法話実演	実	1	●				
	宗教概説・仏教史	講	1	●				

成績

成績評価

授業科目の単位修得の認定は、合格をした者にその授業科目所定の単位が与えられます。成績評価等は、次の表のとおりです。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	G P (注)
合 格	秀	A : 100～90点 (特に優秀な成績)	4
	優	B : 89～80点 (優れた成績)	3
	良	C : 79～70点 (良好な成績)	2
	可	D : 69～60点 (合格と認められる成績)	1
不合格	不 可	F : 59点以下 (合格と認められない成績)	0
失 格	失 格	G : 試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認 定	認 定	T : 学則に則り、単位の認定がされた場合	—

また、授業形態、科目の特性などにより、5段階評価 (秀・優・良・可・不可) の成績評価が困難なものについては、次の表のとおりとします。

判定	成績評価等	内容	G P
合 格	合 格	P : 単位を与える条件を満たしたもの	—
不合格	不合格	N P : 単位を与える条件を満たさなかったもの	—

(注) 表中の G P については次の「G P A 制度」で説明します。

※合格した授業科目を取り消して再履修することはできません。

※学生の単位修得の認定状況は、UNIVERSAL PASSPORT で保証人も閲覧ができます。

※就職先等に提出が必要な学業成績・単位修得証明書 (成績証明書) には、「不合格・失格」と判定された授業科目は記載されません。

G P A 制度

G P A 制度とは

本学は、欧米で一般的に行われている G P A (Grade Point Average) 制度を導入しています。G P A は、学生個人の成績を客観的・総合的に評価するための指標であり、自分自身で学修した成果を判断することができます。

また、不合格科目「不可 (F)」、「失格 (G)」も成績に加算されるため、「不可 (F)」、「失格 (G)」の科目が多いとそれだけ G P A も低くなります。その意味で、学生の勉学への意欲や取り組み方がはっきりと表れる制度です。

算出方法

履修した科目の成績評価をグレード・ポイント (G P) に置き換え、算出します。

$$G P A = \frac{\text{履修登録した全科目の〔単位数} \times G P \text{〕の合計}}{\text{履修登録した全科目の単位数の合計}}$$

算出例

授業科目名	単位数	評 価	G P	単位数 × G P
基礎セミナー I	1	秀	4	4
宗教学 I	2	優	3	6
日本国憲法	2	良	2	4
英語コミュニケーション I	1	可	1	1
I C T 基礎	2	不可	0	0
スポーツ I	1	失格	0	0
合計	9			15

$G P A = 15 \div 9 = 1.666 = 1.67$ (G P A の算出にあたっては、小数点第 2 位までとし、割り切れない場合は、小数点第 3 位を四捨五入します)

活用方法

指導教員等による学修指導の際、GPAを参考にすることがあります。その他、奨学金や各種選抜試験等の選考基準となることがあります。

また、海外の大学に留学するにあたり、当該大学が書類選考の重要なデータとして取り扱うことや、就職活動の際に、企業等が学業成果を判断する指標として活用することが予想されます。

さらに、本学では「退学勧告制度」を導入しています。

①直前の学期のGPAが4期連続して1.0未満の場合、学部長と指導教員による面談で「警告」を行います。

②「警告」を受けた直後の学期のGPAが1.0未満の場合、学部長と指導教員による面談で「退学勧告」を行います。

※面談は全て保護者同席となります。

※休学によってGPAが0である場合は、連続する期に含めません。

退学勧告はあくまでも勧告であって強制ではありませんが、4年間での卒業が極めて難しい状況であることを示しています。退学勧告を受けた場合は、勧告に従うか、学修を継続するかを熟考してください。

対象科目

卒業要件に算入でき、5段階評価（秀・優・良・可・不可）または失格で成績を判定された科目を対象とします（他学部・単位互換を含む）。

なお、「認定（T）」、「合格（P）」、「不合格（NP）」の評価は、GPAには算入しません。

成績発表

成績はUNIVERSAL PASSPORTで確認できます。

原則、下記の時期に発表します。詳細は掲示を参照してください。

前期：8月中旬～下旬

後期：2月中旬～下旬

成績の問い合わせ

成績発表後、不明な点のある人は、成績質問書による問い合わせに応じます。

指定された期間内に所定の用紙を教務課に提出してください。

調査確認の後、教務課から回答します。